

2020年度～2024年度

中期計画

～学園創立100周年及びその先の未来に向けて～

【概要版】

学校法人 洗足学園

1. はじめに ～自立・挑戦・奉仕の精神の下で～

1923年、関東大震災のわずか2ヶ月後、洗足学園は、女性の「自立」を支える教育の必要性を感じた前田若尾が、自宅の2階8帖二間を教室に開放した私塾として産声をあげました。大正デモクラシーによって女性の社会進出が広がる中で、多くの賛同者の力添えを得た前田若尾は、翌1924年に自宅の敷地内に新たに校舎を建て、当時女性が天職を得るために最も近道であった、裁縫を学ぶための女学校を設立したのです。

前田若尾が掲げた「理想高遠、実行卑近」の言葉通りに、その遺志を継いだ前田豊子は、若尾の死の翌年、1948年に空襲によって焼け野原となった川崎市の校地に高等学校と幼稚園を、さらに1949年には小学校を開校しました。1924年の創立当初は、わずか6名の生徒だった女学校が、90年余を経て、現在では幼稚園から大学院までを擁する総合学園となり、園児、児童、生徒、学生の総数は5,000名に届くまでに発展してきた洗足学園の歴史は、まさに「挑戦」の連続でした。

そして、洗足学園の精神を表すもう一つの柱は「奉仕」です。十字架に掛けられる前夜、最後の晩餐の席を前にして、キリストは十二人の使徒たちの足をひとりひとり洗い、こう命じました。「主であり、また教師であるわたしが、あなたがたの足を洗ったからには、あなたがたもまた互いに足を洗わなければならない」（新約聖書ヨハネによる福音書第十三章）。敬虔なクリスチャンだった前田若尾は、校名を「洗足」と定め、この教えにこめられた「奉仕」の精神を養い、社会貢献に取り組むことを洗足学園の理想としたのです。

洗足学園はこの「自立」「挑戦」「奉仕」の精神の下、絶えず変化する社会の要請に応え、学校教育に邁進するため2024年度の創立100周年に向けて、ここに5年間の中期計画を策定することといたします。

2. 建学の精神

若き学徒をして、
真の人生の目的に目覚めさせ、
さらに人間の天職を悟らせ、
謙虚にして
慈愛に充ちた心情（謙愛の徳）を養い、
気品高く、かつ実行力に
富む有為な人物を育成する。

3. 実践標語

「理想高遠 実行卑近」

4. VISION～学園創立100周年及びその先の未来に向けて～

- ① 学生・生徒・児童・園児本位の教育を実現し、真の学力形成を目指します
- ② 学生・生徒・児童・園児のみならず保護者、地域社会の期待に応える教育・研究を実現し「選ばれる学校」となります
- ③ 安定した財務基盤を保ち、教育資源へ積極的な投資を行います

5. 各校計画

(1) 洗足学園音楽大学

〈基本目標〉

- ・教育研究活動の活性化と質の向上に向けて発展するために、P D C Aサイクルを確立し、継続的な改革・改善に必要な施策を講じる。
- ・公共性の高い高等教育機関としての責務として、社会的な説明責任を果たすとともに、認証評価に係わる事項など基礎的な教育情報を積極的に公表する。

(1) 教育・研究に係る質の向上

－理念・目的－

- ①建学の精神およびそれに付随する思想のより広い周知
- ②大学の目的、人材養成及び教育研究上の目的の積極的な周知
- ③建学の精神、大学の目的、人材養成及び教育研究上の目的に基づいた教育改革のP D C Aサイクルの確立

－教育研究組織－

- ①理念・目的、社会の要請及び受験生のニーズ等に対応すべくコースの新設・廃止を随時実施
- ②附属施設が、幅広い教養を身に付け、論理的思考力を有する人材を育成するために更なる充実を図る
- ③学士課程、修士課程の教育研究上の役割・目的を明確にし連動性、連携体制を見直す
- ④博士課程の目的、カリキュラムの検討、学生確保の見通しについて調査し、博士課程設置に向けた検討に着手

－教員・教員組織－

- ①中長期的な人事計画に基づいた人事の推進
- ②コース学生人数比率のバランスによる専任教員の任用
- ③「授業に関するアンケート」の教員への改善対応

－教育内容・方法・成果－

- ①教育目標、学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)および教育課程の編成・実施方針(カリキュラム・ポリシー)についてより積極的な周知徹底

- ②体系的で構造的な教育課程の構築と充実
- ③多種多様な学生像に対応できるような複線的履修モデルの作成
- ④卒業時の学修成果の質を保証するための仕組みの整備

(2) 多様な学生の安定した受入れ

- ①学生募集方法、入学者選抜方法の適切性、透明性の確保
- ②音楽学部の入試区分毎の精緻な入学定員の設定
- ③音楽学部、音楽研究科留学生の増加と安定した確保

(3) 学生支援の強化

- ①AA、AP制度を中心とした個別のニーズに応える学生支援体制強化
- ②留学生の在籍確認を含めた支援体制の強化
- ③学生支援の管轄委員会による組織的な活動の強化
- ④学生の心身の健康保持のための学生相談体制の充実
- ⑤学生の多様な進路に対する柔軟かつ早期支援の強化

(4) 教育環境の整備

- ①教育研究に応じた施設・設備の整備計画の策定
- ②学生の主体的な学修を促すための施設・設備の利用形態に応じた配慮
- ③図書館の機能向上に関して恒常的に取り組み、学生教職員の需要を取り入れた各分野における所蔵資料を充実
- ④学生の自主的な学習促進のためのラーニングコモンズ、日本語学習支援施設等の設置

(5) 社会連携・社会貢献の推進

- ①幅広いジャンルの主催演奏会による教育研究上の成果を社会へ還元、文化芸術振興の寄与
- ②被災地支援の活動継続による社会への貢献、学生ボランティア人材の育成
- ③「洗足オンライン・スクール・オブ・ミュージック」による教育研究成果の提供
- ④川崎市、川崎市高津区との活動範囲の拡大
- ⑤大学連携の強化、学生交流の継続、AIに係る理工系大学との共同研究検討

(6) 国際化の取組み

- ①アジア地区での留学生受け入れ及び国際影響力の確立
- ②学術機関との提携・連携による国際影響力の強化
- ③国際交流イベントによる国際影響力の充実
- ④留学生募集の推進
- ⑤留学生及び日本学生に対するサポートの整備

(7) 管理運営・財務の適切化

- ①現状に即した学則・学内規程の整備及び大学運営の実施
- ②大学運営に必要な事務体制の整備
- ③IT・デジタル・システム・情報化の推進
- ④明確性、透明性に基づく予算編成、予算執行管理の確立

(2) 洗足こども短期大学

〈基本目標〉

- ・ 教学マネジメント体制の構築と「学修者目線」の教育改善により教育の質保証を図る。
- ・ 教職協働による教育支援体制および学生支援体制の強化による学生満足度の向上を図る。
- ・ 教育改善および学生満足度の向上に加え、広報・募集活動の戦略的展開による安定した入学者数を確保する。

(1) 教育の改善と質の保証

- ① 教学マネジメント体制の構築と教育改善
- ② 導入教育の充実による学びの姿勢定着
- ③ 教育支援体制の強化

(2) 学生支援

- ① 学生生活全般へのサポート体制の充実
- ② 学生支援・相談体制の充実
- ③ キャリア支援体制の充実

(3) 広報・募集活動

- ① 広報及び募集活動の戦略的展開
- ② 入試方法・内容の変更及び改善
- ③ 適正な入学定員の見極め

(4) 社会貢献・地域連携の強化

- ① 保育関連協会・自治体との連携強化
- ② 学生ボランティア活動の活性化

(3) 洗足学園中学校・高等学校

<基本目標>

- ・ Society 5.0 とされる超スマート社会を切り拓く力を持って社会を変革する、世界で活躍できる将来の女性リーダーを育成する。
- ・ 時代の要請に対応するために教員の質的向上を図り、その結果として進学実績の向上を実現させる。

(1) 論理的思考力の教育推進

- ①SSH（スーパー・サイエンス・ハイスクール）の指定取得
- ②理系学部への進学率増加
- ③ICT教育（デジタル教育）の推進と活用体制強化

(2) 批判的思考力を習得する教育方法の確立

- ①哲学的思考の場を提供
- ②ディベートの活用推進

(3) 創造力の醸成

- ①「探究」的活動の実施
- ②アートの重視（STEAM教育）
- ③プログラミング教育の導入

(4) グローバル化への対応

- ①海外語学研修、留学の質的向上
- ②海外大学進学希望者の維持・向上
- ③海外大学との連携

(5) 高大連携の充実

(6) 教員の教育能力の質的向上

(7) 進学実績の向上

- ①全教科体制
- ②国公立難関校への進学者増加

(4) 洗足学園小学校

〈基本目標〉

- ・これからの社会で活躍できる将来のリーダー育成。
- ・日本最先端の学びの場を目指す。

(1) 主体的な学びへの転換と推進

- ①児童の主体的な学びへの転換
- ②主体的な学びの場としてのたてわり活動の実施と児童会の組織化
- ③新しい評価基準の整備

(2) 新しい文房具としての i P a d の活用

- ① i P a d のさらなる活用
- ②アプリの利用目安となるカリキュラムの作成

(3) 道徳教育の充実

- ①児童の行動が変わる道徳授業を实践
- ②新しい社会に即した道徳教育（情報モラル教育）の実施

(4) 教員のスキルの向上

- ①教職員のスキルアップと主体的な学びの推進
- ②AppleTeacher と AppleDistinguished Educator (ADE) の取得の支援

(5) 進学指導の充実

- ①児童の興味・モチベーションを持続する教育の確立
- ②中学校受験に対する教員の知識の向上

(6) 学びの環境整備

- ①機器の充実と教室整備
- ②人材の投入

(7) イノベーターとしての発信

- ①Apple Distinguished School (ADS)
- ②教育実践の発信

(5) 洗足学園大学附属幼稚園

〈基本目標〉

- ・ 2018年度改正の幼稚園教育要領の対応と保育内容及び教育内容の更なる充実。
- ・ 国私立小学校への進学を推奨することにより他園との差別化を図る。
- ・ 保護者が安心して子どもを預けられる環境づくりをより一層強化する。

(1) 保育内容・教育内容の充実

(2) 保護者との連携強化

(3) 広報募集活動の強化

(4) 国私立小学校への進学の推奨

(5) 安心・安全の環境整備

(6) 洗足学園法人本部

〈基本目標〉

- ・適正かつ機動的な経営実現に向けた管理運営とそのための情報収集の強化と計画の立案、見直しの徹底を図る。
- ・安定した財政基盤の維持を目指す。

(1) 管理運営の適正化

- ①法令順守の徹底
- ②計画の立案、見直しの徹底
- ③学園創立100周年を迎えるにあたり

(2) 人事政策の充実

- ①人件費の安定化
- ②事務組織の安定
- ③SD活動の推進

(3) 施設設備の維持管理

- ①施設設備整備計画の策定
- ②通信インフラ整備計画の策定
- ③エネルギーの効率的な利用
- ④経常収支の改善に向けた取り組み
- ⑤防災計画の策定

(4) 適切な財政計画の策定と実施

- ①経常収支差額の安定化
- ②計画的な予算編成及び予算管理
- ③学納金収入の安定化
- ④安定した財政基盤の維持